

花岡 中 学 区

1 はじめに

研究テーマ「花岡の子どもたちが健やかに成長するための小・中連携はどうあればよいか」のもと、今年度の小・中連携研究を進めてきた。このテーマに取り組んで2年目となる。昨年度に引き続き、「表現力の向上」と「よりよい人間関係の構築」を重点に、9年間を見通した児童生徒の育成を目指した。

2 今年度の取組

月 日	実 践 内 容	月 日	実 践 内 容
5月 9日	第1回小・中連携委員会 (今年度の活動計画について)	11月10日	保・小・中PTA合同研修会 (「サイト活用の実態と危機」)
7月18日	指定訪問参観①(中学校 国語)	11月16日	小学校公開研究会参観
9月 5日	小・中連携研究会 中学校会場 (授業参観・研究会)	11月29日	指定訪問参観③(中学校 数学)
		1月24日	指定訪問参観④(中学校 社会)
9月13日	6年生の中学校訪問(体験学習)	3月 1日	第2回小・中連携委員会 (今年度の反省と来年度計画案)
9月20日	指定訪問参観②(中学校 総合)		

3 活動の実際

(1) 表現力の向上

9月に行われた小・中連携研究会では、表現力を高めるための手立てについて、昨年度よりも具体的な話し合いがなされた。特に、今後の共通実践事項として「話型」を示して指導することを確認した。これは、小学校で使っている「学習で使う10の言葉」を参考に中学校でも「学習で使う言葉」を作成し、話し合い活動に生かすものである。



【6年生の中学校訪問での
中学生との交流】

(2) 地区の職場訪問先の情報交換

小学校と中学校とで重複しないよう、各学年での職場訪問先の情報を交換した。ただ、小学校でも毎年訪問先が変わるので、年度ごとの情報交換が必要である。

(3) 生徒指導上の連携

- ① 昨年問題となった、携帯電話やネットによるトラブルについて、保・小・中研修会で研修ができたのは成果である。
- ② 小・中共に「ルールを守る」という意識が弱い。小学校段階から、道徳の時間や日常生活の中で意識させて行くことが必要である。また、ときには、保護者や家族を巻き込んで、一緒に考えさせていきたい。
- ③ 家庭での問題を抱える子どもたちが年々増えている。その児童生徒については、こまめに情報交換することが必要である。

4 おわりに

人数が少なくても伸び伸びと活動している1年生を見ると、児童生徒にとって、学級の人間関係が学習に大きく影響していることがわかる。これを踏まえ、今後も同じ目標に向かって、小・中の情報交換を密にし、手を携えて花岡の子どもたちを健やかに育てていきたい。